

平成 24 年度 事業報告

平成 24 年度においては、事業計画の重点事業に位置づけた事業について、その実現が難しいものも見られたが、E T F E フィルム膜に関する告示化については、国土技術政策総合研究所において技術的な検討が進められるなど、早期の実現が期待されている。

一方、公益目的事業として位置付けたサマーセミナー、膜構造施設見学会をはじめ、品質確保のための各種の講習会活動等、協会の定例の事業については、会員の協力により円滑に実施するとともに、行政代行業として型式適合認定の審査については、過去最大の件数の審査を実施した。

また、各種の調査研究活動については、会員の積極的な参加により有意義な活動を実施することができ、今後、研究成果の具体的な展開が期待されている。

なお、平成 24 年度は一般社団法人へ移行した初年度であり、協会の基本的業務として、会員に対する情報提供、社会に対する膜構造等の普及情報の提供等について、協会ホームページ等を積極的に活用することにより、一層の充実を図ることに努力した。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）

(1) 「定期点検者講習」を7月5日に実施し、20名が講習後の考査に臨み、20名全員を合格として登録し、更にホームページに掲載した。

（現在登録者数 105名）

(2) 「既設の膜構造建築物及びテント倉庫についての更新時期を判断する指針」の検討を昨年度から引き続き実施し、『膜構造建築物の膜体部張替え及び鋼製部材の劣化判定マニュアル』として取りまとめ、その成果を「定期点検者講習」のカリキュラムに組み込んだ。

(3) 「フィルム膜材料E T F Eを導入した膜構造建築物の関係告示（案）」を取りまとめ、国土交通省建築指導課に建築基準法における位置づけの要請を行うとともに、法制度改善の提案を受付けるコンタクトポイントに「関係告示（案）」を提案し、これが採択され、国土交通省国土技術政策総合研究所への説明を行った。

(4) 「仮設空気膜構造建築物」の円滑な建設を実現するため、「仮設空気膜構造建築物技術規準（案）」をとりまとめ、特定行政庁における許可の判断指針として活用されるよう、国土交通省建築指導課に要請を行った。

(5) 「膜施工管理技術者講習」を10月4日及び5日の両日に実施し、9名が講習後の考査に臨み、全員を合格（S種6名、M種2名、R種1名）として登録し、更にホームページに掲載した。

（現在登録者数 S種50名、M種14名、R種2名、計66名）

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）

- (1) 『環境に貢献する膜構造の技術開発』の成果をもとに、「環境クライテリア」に関して、膜材料の持つ環境指標の公表を目指して検討を行った。引き続き、協会として具体的な実施方策についての検討を行う。
- (2) 安全で快適な空間を創出する「膜天井」について、「膜天井」を導入する際の技術的な留意点等の指針を作成することとし、研究会を開催し検討を行い、「膜天井ガイドライン」として取りまとめることとした。
- (3) 設計実務への反映を目指した「膜構造の建築物に相応しい風圧係数」を提案することを目指して、既存の風洞実験データを活用した調査研究を実施することとし、その実施方法について検討を行った。
- (4) 技術発展の基盤を整備するため、「膜構造研究論文集2012」を刊行した。
 - ・掲載研究論文：
「ETFE フィルムを用いた張力膜構造の延伸成形に関する研究」他 計11編
 - ・膜構造関連論文資料：
IASS-APCS 2012 Symposium “From Spatial Structures to Space Structures” 報告 他

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）

- (1) 膜構造建築物等に関する技術の普及と会員等の知識の向上を図るため、以下の講演会、見学会を開催した。
 - ① 記念講演会を、5月29日通常総会後に開催した。
『膜構造の技術とデザイン』 講師：法政大学名誉教授 川口 衛 氏
 - ② 「サマーセミナー・夢空間2012」を、9月6日に開催した。
『事業主体から見た膜構造空間への期待』
講師：（一財）建築保全センター専務理事 寺本 英治 氏
『ETFEの魅力と空間創造』
講師：旭硝子㈱化学品カンパニー フィルムグループリーダー 中尾 卓也 氏
横浜国立大学大学院准教授 河端 昌也 氏
 - ③ 「膜構造施設見学会」を、静岡県内の施設において11月30日に開催した。
見学施設：静岡県立水泳場、島田駅北口・南口駅前広場、富士山静岡空港、
静岡県小笠山総合運動公園エコパスタジアム
- (2) A～C種膜構造建築物及びテント倉庫の施工実績、膜材料の出荷実績に関する『膜構造事業実績』の定期アンケート調査を実施し、会員の事業戦略の参考に供した。
- (3) 協会ホームページの体裁の更新を行うとともに、定期的なアップデートや『膜協だより』を時機に応じて掲載した。また、上記『膜構造事業実績』のアンケート結果、『サマーセミナー』の講演資料、『膜構造建築物の膜体部張替え及び鋼製部材の劣化判定マニュアル』等を「会員ページ」に掲載した。

4 性能評価事業等の実施（行政代行業者ほか）

- (1) 指定性能評価機関として、1件の膜材料について性能評価を実施した。
- (2) 指定認定機関として、54件の膜構造の建築物やテント倉庫建築物について型式適合認定の審査を実施した。
- (3) 膜構造技術審査（任意）を、1案件について実施した。
- (4) 仮設空気膜構造について、膜構造建築物に係る技術審査に向けてのアドバイスをを行うなど、適切な対応を行った。

5 その他協会の目的に合致する事業の実施

会員相互、関係団体の交流・親睦を図るため、『賀詞交歓会』を1月11日に開催した。

6 会議の開催状況

(1) 総会

一般社団法人へ移行後の第1期通常総会を5月29日に開催し、一般社団法人への移行、平成24年度事業計画及び収支予算を了承するとともに、平成23年度事業報告及び決算報告等を承認した。また、2年の任期満了に伴う役員の変更を行い、全員再任とするともに、7月1日付による理事の補選を行った。

(2) 理事会

① 第1回通常理事会（5月14日）

平成23年度事業報告及び収支決算、各種規定類等を審議し、総会に付議する事項を決議した。

② 第2回臨時理事会（5月29日）

総会における理事の変更を受け、会長、副会長、専務理事の選定（全員再任）を行った。

③ 第3回臨時理事会（7月1日。書面開催）

参与の委嘱の同意、正会員の入会の可否の決定、専務理事の選定を行った。

④ 第4回臨時理事会（11月1日）

委員会委員の選任、委員会規程の改正、入会申込書の改正、上半期の事業実施状況等についての審議を行った。

⑤ 第5回通常理事会（3月13日）

平成25年度事業計画及び収支予算、指定認定機関の指定の更新、正会員の入会の可否の決定等についての審議を行った。

(3) 企画運営委員会

「企画運営委員会」を5回開催し、法人移行に係る規定類の整備、理事会への付託案件、平成23年度事業報告及び決算報告、各種研究活動等の実施内容、付加会費のあり方、平成25年度事業計画及び収支予算等についての討議を行った。

(4) 品質委員会

「維持保全専門委員会」を1回開催し、定期点検報告書3件を審査した。

(5) 普及情報委員会

「普及情報委員会」を2回開催し、「サマーセミナー」、「膜構造施設見学会」などの実施に関する討議を行った。また、会員が求める情報、膜構造の普及に関する活動等、今後の普及情報活動の展開について討議を行った。

(6) 性能評価委員会

「材料品質性能評価委員会」を1回開催し、膜材料1件についての性能評価を行った。(再掲)

(7) 型式適合認定委員会

「型式適合認定委員会」を12回開催し、54件についての審査を行った。(再掲)

(8) 膜構造技術審査委員会

「膜構造技術審査委員会」を1回開催し、1案件についての審査を行った。(再掲)

7 会員の動向

	平成24年度末	平成23年度末	
第1種正会員	17社	16社	(1会員増)
第2種正会員	18社	18社	
第3種正会員	94名	93名	(3会員増、2会員減)
第4種正会員	7社	6社	(2会員増、1会員減)
合計	136会員	133会員	(6会員増、3会員減)